

Smart Times

豆からひける全自動コーヒーメーカーが話題になっている。ツインバード工業が開発した高級コーヒーメーカーで2018年の発売から好調な売れ行きだ。開発のきっかけは商品開発部

の岡田剛さんの「自分だけの究極の一杯のコーヒーを自宅でゆったりとした時間に飲めたらどんなに幸せだろう」との思いだった。16年に経営陣の後押しを得て、本物志向の全自動コーヒーメーカーの開発が始

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート（現リクルートホールディングス）入社。首都圏営業部長などを経て95年にインターウォーズ事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

共創が生む成功物語

まる。開発コンセプトは「バド」と呼ばれる人物だ。リスタが入れられる本格的なコーヒーの味を自宅で再現す。しかし開発メンバー全員がコーヒーには素人で知識も技術もない。何を

量、湯温、蒸らし時間、ドリップの高さなど、すべての工程を正しい作法で一つひとつ丁寧に再現することに取り組んだ。最大の難問はバリスタが湯を注ぐ技術の再現だった。6力所から湯が出る仕組みをつくり、湯の出方を緻密に秒単位でコントロ

る。しかし開発メンバー全員がコーヒーには素人で知識も技術もない。何をいのか分からない。お店で最大の難問はバリスタが湯を注ぐ技術の再現だった。6力所から湯が出る仕組みをつくり、湯の出方を緻密に秒単位でコントロ

っておいしいと言えるのか判断基準がなかった。多方面から情報を収集し、東京・南千住の「カフェ・パッパ」が開店から5年たった今も愛され続ける名店だと知る。店主の田口

がドリッパに注がれるときに2秒の隙間を空けて外から見えるようにもした。チームメンバーは夜中まで試行錯誤しテイスターに重ね、店の味を忠実に再現することに挑戦した。そして透明感のあるまろやかなおいしさを、2年の歳月をかけて実現した。他に類のない「豆からひ

の思想が行動規範となっている。同社が本社を置く新